

# 『営業地区内企業の景気動向調査』調査結果

1. 調査内容 平成21年 4月～ 6月期の実績  
平成21年 7月～ 9月期の予想
2. 調査対象 当金庫営業地域内の企業 合計 60社  
(業種別内訳) 製造業 21社 卸売業 4社  
小売業 13社 サービス業 6社  
建設業 12社 不動産業 4社
3. 調査担当 江差信用金庫  
業務推進部 業務企画課

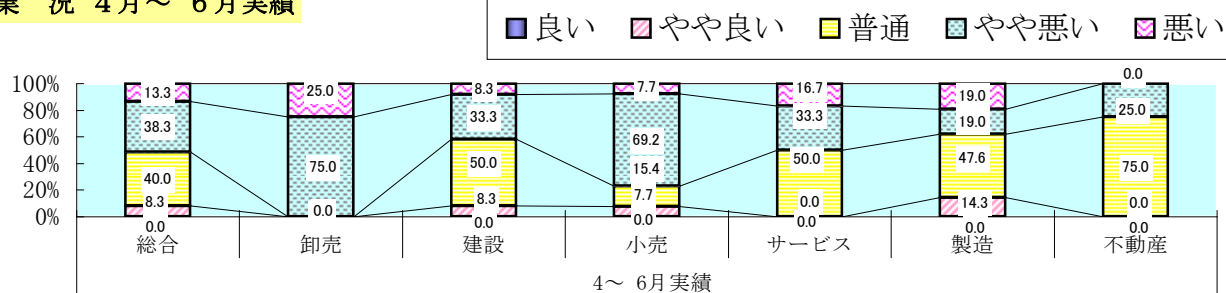
概況	P. 1
前期に比べた売上高の動き	P. 2
前期に比べた受注残・施工高の動き	P. 3
前期に比べた収益の動き	P. 4
前期に比べた販売価格（料金価格）の動き	P. 5
前期に比べた仕入価格の動き	P. 6
前期に比べた在庫の動き	P. 7
前期に比べた資金繰りの動き	P. 8
前年同期に比べた売上額の動き	P. 9
前年同期に比べた収益の動き	P. 10
前年同期に比べた販売価格の動き	P. 11
前期に比べた残業時間の動き	P. 12
前期に比べた人手の動き	P. 13
前期に比べた借入金の動き及び難易度	P. 14
前期に比べた設備投資の動き	P. 15
前期に比べた設備投資の実施と予定状況	P. 16
経営上の問題点	P. 17
当面の重点経営施策	P. 18
特別調査（世界同時不況下における中小企業の雇用戦略	P. 19
特別調査（正規社員の採用状況等について）	P. 20

※ 計数等については、四捨五入しておりますので、  
合計欄と一致しない場合があります。

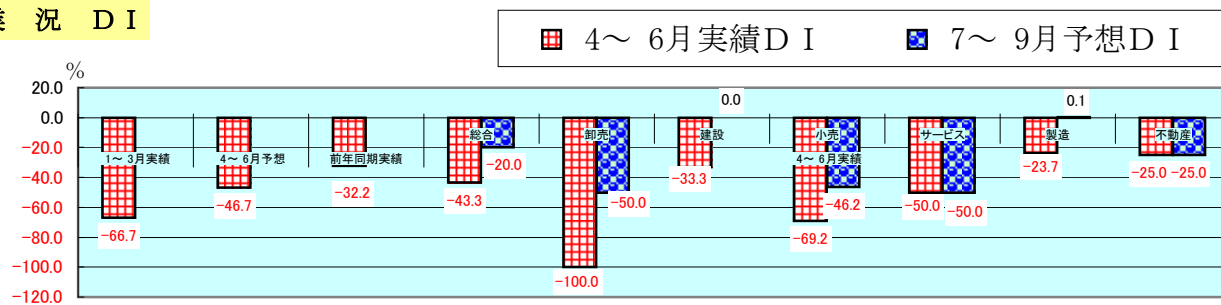
# 1. 概 況

概 況	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	4～6月実績DI	7～9月予想DI
1～3月実績						-66.7	
4～6月予想						-46.7	
前年同期実績						-32.2	
4～6月実績総合	0.0	8.3	40.0	38.3	13.3	-43.3	-20.0
卸売	0.0	0.0	0.0	75.0	25.0	-100.0	-50.0
建設	0.0	8.3	50.0	33.3	8.3	-33.3	0.0
小売	0.0	7.7	15.4	69.2	7.7	-69.2	-46.2
サービス	0.0	0.0	50.0	33.3	16.7	-50.0	-50.0
製造	0.0	14.3	47.6	19.0	19.0	-23.7	0.1
不動産	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0	-25.0	-25.0

業 況 4月～6月実績



業 況 DI



## ◇ [当金庫の取引先からみた中小企業の景況]

平成21年4月～6月期の業況判断DIは▲43.3と1～3月期(前期)に比べ23.4ポイント改善となったものの、前年同期比では11.1ポイント悪化しました。

今期の売上額判断DIは▲21.7と、前期比60.0ポイントの改善がみられ、収益判断DIも前期比49.9ポイント良化の▲31.7となりました。

平成21年7月～9月期(来期)の予想業況判断DIは▲20.0と、今期実績比23.3ポイントの改善が予想されており、経営者のマインドは業況の良化を見込んでいます。

## ◇ [全国の信用金庫の窓口からみた中小企業の景況] (信金中央金庫総合研究所調べ)

平成21年4～6月期(今期)の業況判断DIは、前期比1.2ポイント改善の▲54.1となりました。しかし、前期を除けば、バブル崩壊後最悪の実績値であった2002年1～3月期の▲47.9を更に下回る結果となりました。

収益面では前年同期比収益判断DIが▲53.8と、前期比で1.5ポイントの改善となりました。

また、設備投資実施企業割合は15.4%と前期比0.9ポイント上昇しました。

業種別の業況判断DIは、製造業と建設業が前期に引続き悪化し、バブル崩壊後最悪の実績値を上回りました。

平成21年7月～9月期(来期)の予想業況判断DIは、▲50.6となり、今期実績比3.5ポイントの改善見通しとなっています。

業種別では、サービス業を除いた5業種で改善を見込んでいます。

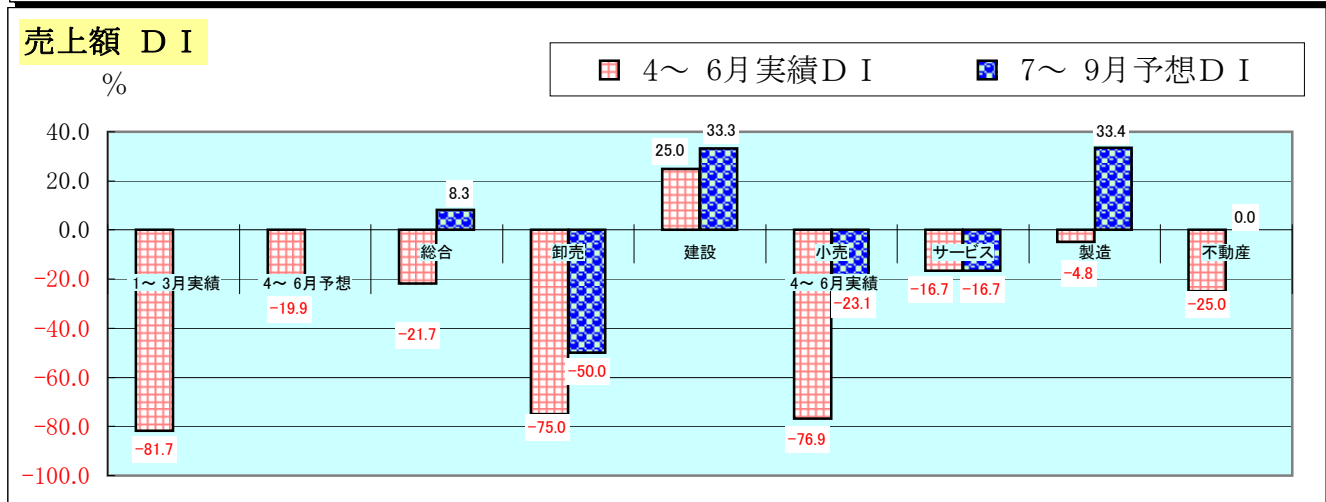
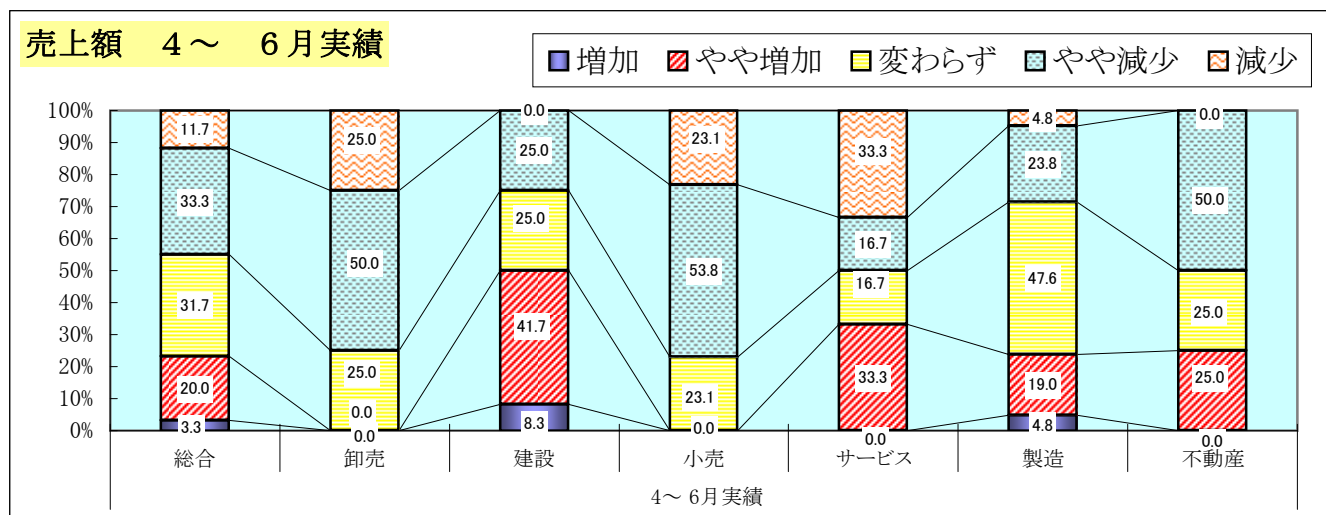
また、地域別の予想業況判断DIでは、全11地域で今期実績比改善を見込んでいます。

《注》DI(判断指数) …「増加・やや増加」「上昇・やや上昇」と回答した企業の全体に占める構成比から「減少・やや減少」「下降・やや下降」と回答した企業数の構成比を差し引いた数値

## 2. 前期に比べた動き

### (1) 売上額の動き

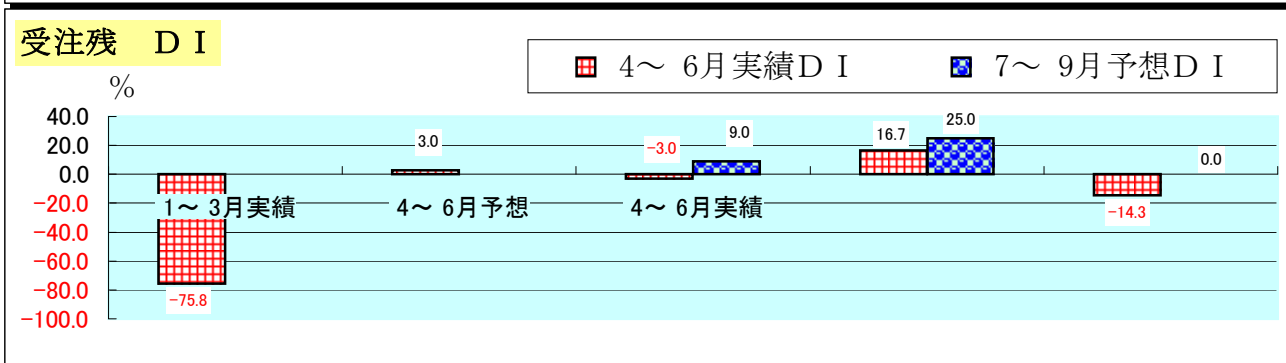
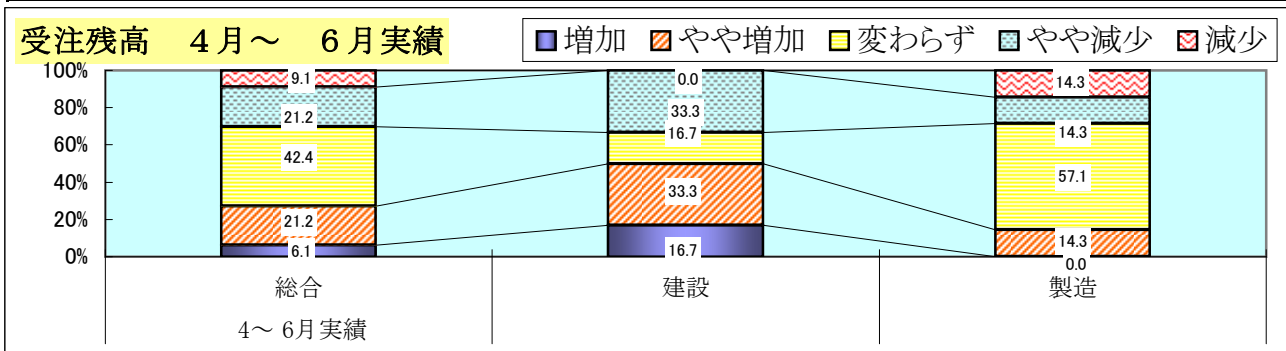
売上額	増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	4～6月実績D I	7～9月予想D I
1～3月実績						-81.7	
4～6月予想						-19.9	
4～6月実績 総合	3.3	20.0	31.7	33.3	11.7	-21.7	8.3
卸売	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0	-75.0	-50.0
建設	8.3	41.7	25.0	25.0	0.0	25.0	33.3
小売	0.0	0.0	23.1	53.8	23.1	-76.9	-23.1
サービス	0.0	33.3	16.7	16.7	33.3	-16.7	-16.7
製造	4.8	19.0	47.6	23.8	4.8	-4.8	33.4
不動産	0.0	25.0	25.0	50.0	0.0	-25.0	0.0



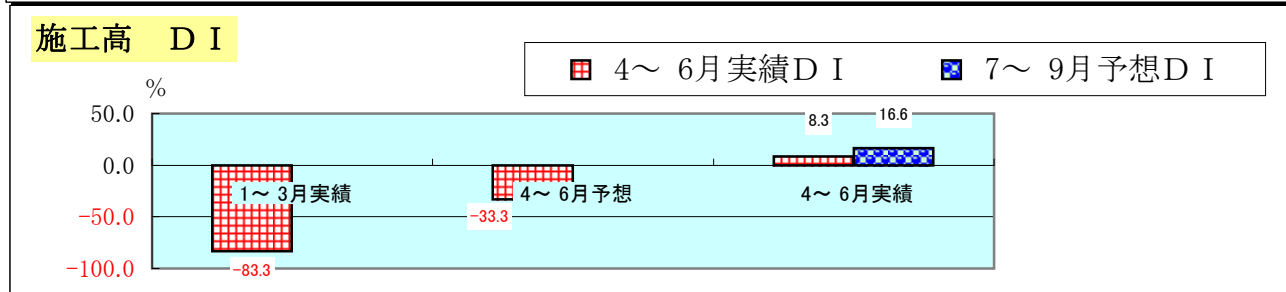
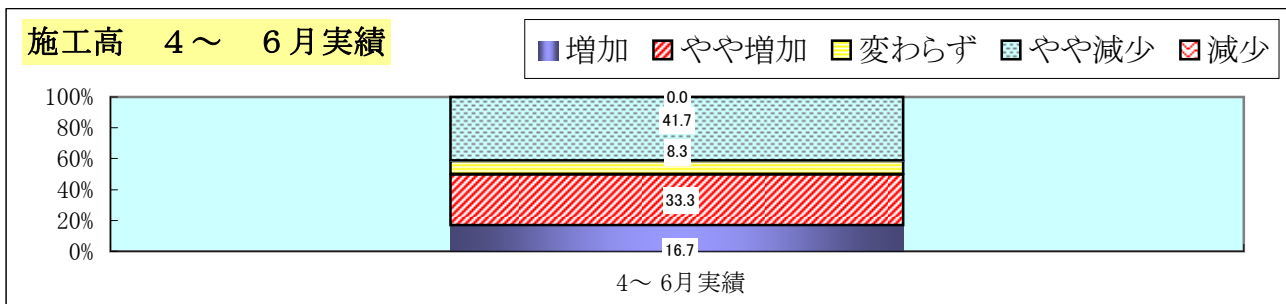
- 前期に比べて売上額が「増加」「やや増加」した企業は全体の23.3%、「減少」「やや減少」した企業は45.0%を示し、D Iは▲21.7となりました。
- 今期実績は、前期実績D Iの▲81.7から60.0ポイント改善を示したものの、前回調査における今期の予想D Iの19.9からは1.8ポイントの悪化を示しました。
- 業種別の今期D Iは、建設業のみが増加傾向を示しました。
- 7～9月期の売上額予想D Iは8.3で、4～6月実績より30.0ポイント上昇を予想しています。

## (2) 受注残・施工高の動き

受注残高	増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	4～6月実績D I	7～9月予想D I
1～3月実績						-75.8	
4～6月予想						3.0	
4～6月実績 総合	6.1	21.2	42.4	21.2	9.1	-3.0	9.0
建設	16.7	33.3	16.7	33.3	0.0	16.7	25.0
製造	0.0	14.3	57.1	14.3	14.3	-14.3	0.0



施工高	増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	4～6月実績D I	7～9月予想D I
1～3月実績						-83.3	
4～6月予想						-33.3	
4～6月実績	16.7	33.3	8.3	41.7	0.0	8.3	16.6

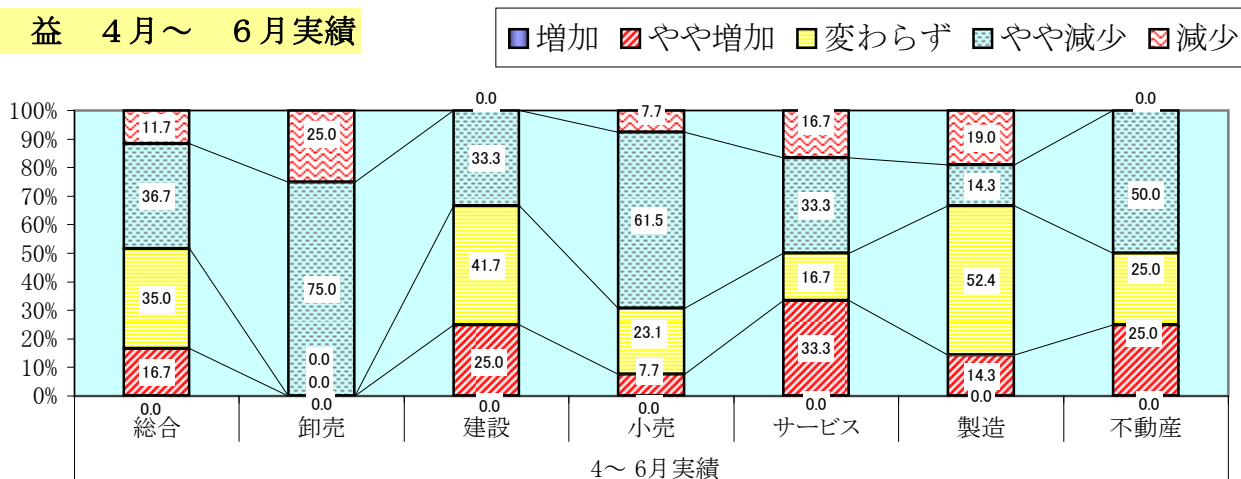


- 受注残(製造業、建設業のみ)DIは▲3.0で前期実績DIの▲75.8に対し72.8ポイント改善し、前期調査における今期の予想DI 3.0に対しては6.0ポイントの悪化を示しました。  
また、7～9月期の受注残予想DIは9.0で、今期実績対比12.0ポイントの上昇を予想しています。
- 施工高(建設業のみ)DIは8.3で、前期実績のDIの▲83.3に対し91.6ポイント改善し、前回調査における今期予想DI ▲33.3に対しては41.6ポイントの良化を示しました。  
また、7～9月期の施工高予想DIは16.6で、今期実績対比8.3ポイントの上昇を予想しています。

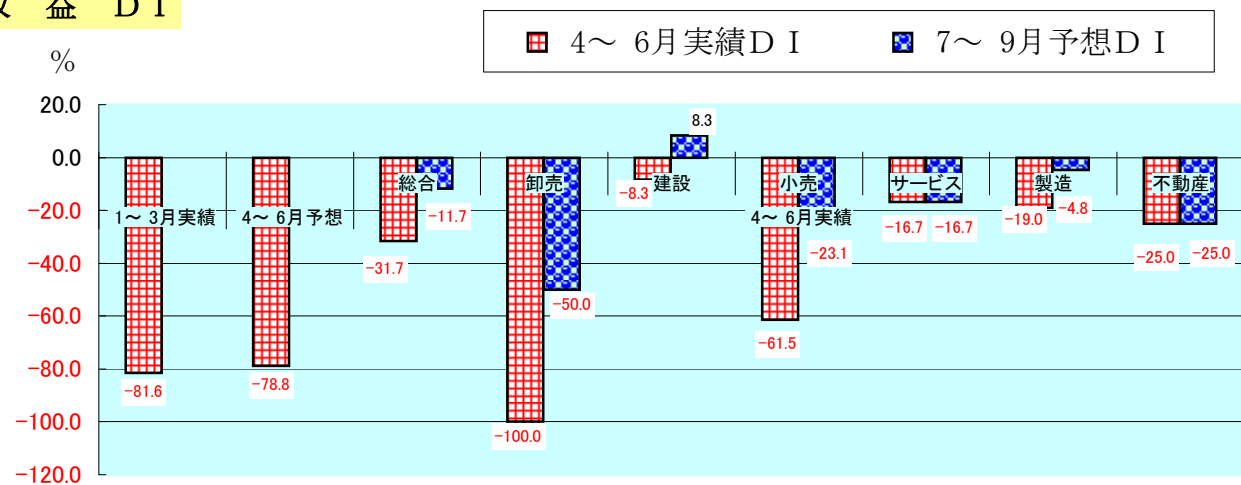
### (3) 収益の動き

収益の動き	増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	4～6月実績D I	7～9月予想D I
1～3月実績						-81.6	
4～6月予想						-78.8	
4～6月実績総合	0.0	16.7	35.0	36.7	11.7	-31.7	-11.7
卸売	0.0	0.0	0.0	75.0	25.0	-100.0	-50.0
建設	0.0	25.0	41.7	33.3	0.0	-8.3	8.3
小売	0.0	7.7	23.1	61.5	7.7	-61.5	-23.1
サービス	0.0	33.3	16.7	33.3	16.7	-16.7	-16.7
製造	0.0	14.3	52.4	14.3	19.0	-19.0	-4.8
不動産	0.0	25.0	25.0	50.0	0.0	-25.0	-25.0

#### 収益 4月～6月実績



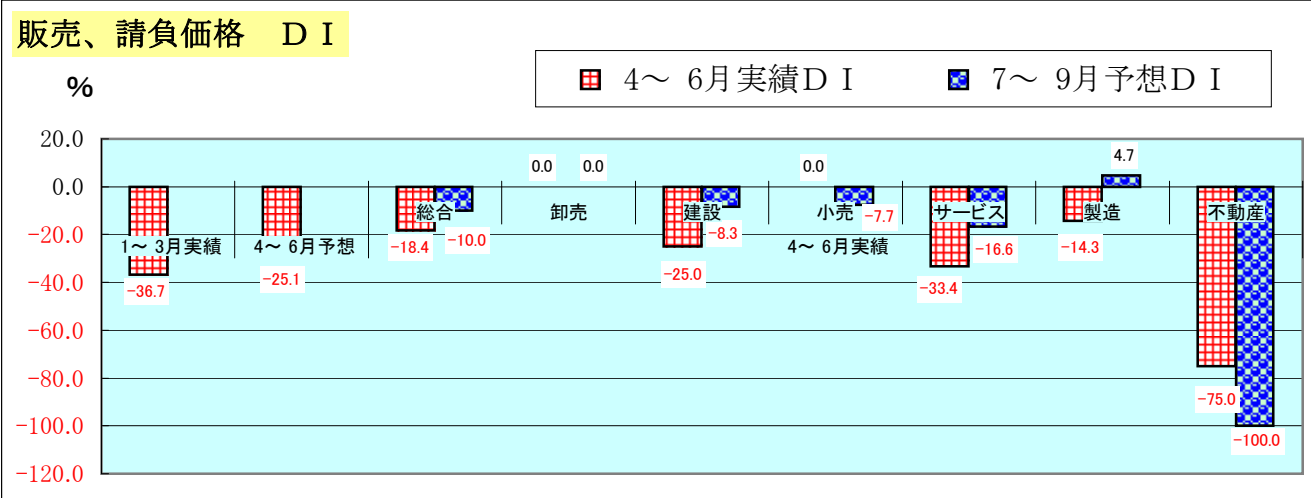
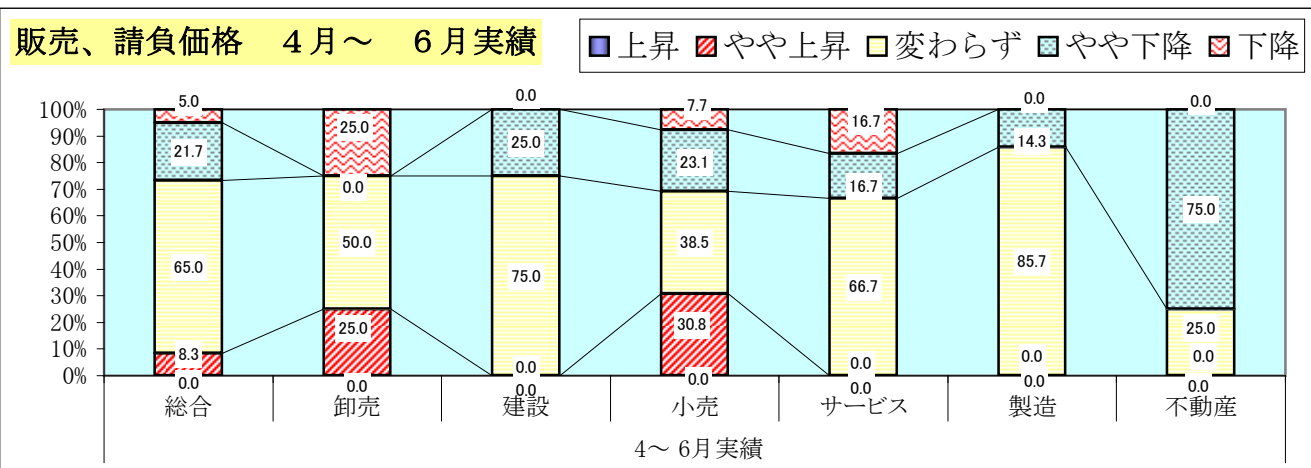
#### 収益 D I



- 前期に比べて収益が「増加」「やや増加」した企業は16.7%、「やや減少」「減少」した企業は48.4%でD Iは▲31.7となりました。
- 今期実績は、前期実績D Iの▲81.6から49.9ポイント上昇を示し、前回調査における今期の予想D Iの▲78.8に対しても47.1ポイントの上昇を示しました。
- 今期D Iは、全ての業種で減少傾向を示しています。
- 7～9月期の収益予想D Iは▲11.7で、4～6月期実績対比20.0ポイント上昇を予想しています。

#### (4) 販売価格（料金価格・請負価格）の動き

販売価格	上昇	やや上昇	変わらず	やや下降	下降	4～6月実績D I	7～9月予想D I
1～3月実績						-36.7	
4～6月予想						-25.1	
4～6月実績 総合	0.0	8.3	65.0	21.7	5.0	-18.4	-10.0
卸売	0.0	25.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0
建設	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0	-25.0	-8.3
小売	0.0	30.8	38.5	23.1	7.7	0.0	-7.7
サービス	0.0	0.0	66.7	16.7	16.7	-33.4	-16.6
製造	0.0	0.0	85.7	14.3	0.0	-14.3	4.7
不動産	0.0	0.0	25.0	75.0	0.0	-75.0	-100.0

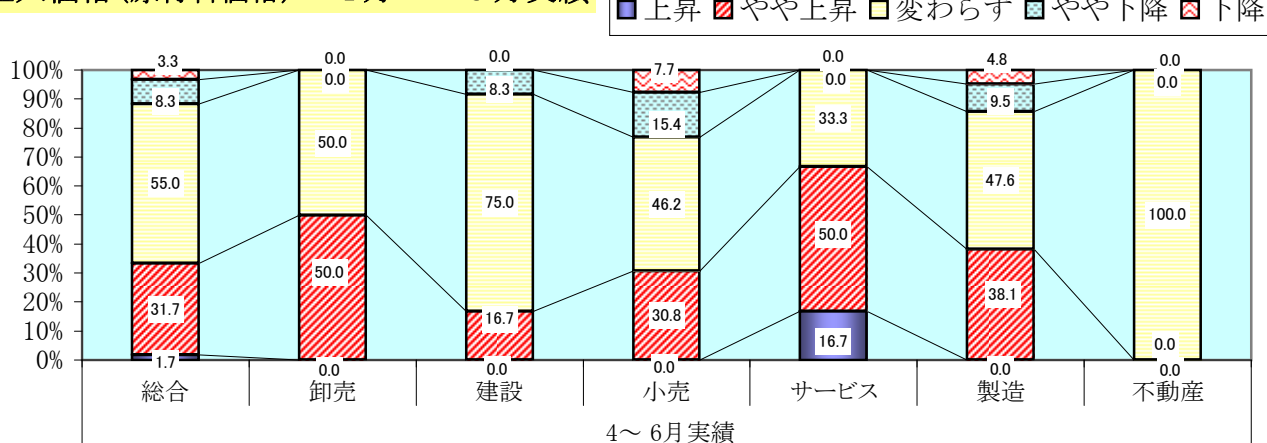


- 前期に比べて販売価格が「上昇」「やや上昇」と回答している企業が8.3%、「やや下降」「下降」と回答している企業が26.7%となり、D Iは▲18.4となりました。
- 今期実績は、前期実績D Iの▲36.7から18.3ポイント上昇し、前回調査における今期の予想D I ▲25.1よりも6.7ポイント上昇を示しました。
- 業種別では、卸売・小売業を除いた他の業種で下降傾向を示しました。
- 7～9月期の販売価格予想D Iは▲10.0で、4～6月期実績対比8.4ポイント上昇を予想しています。

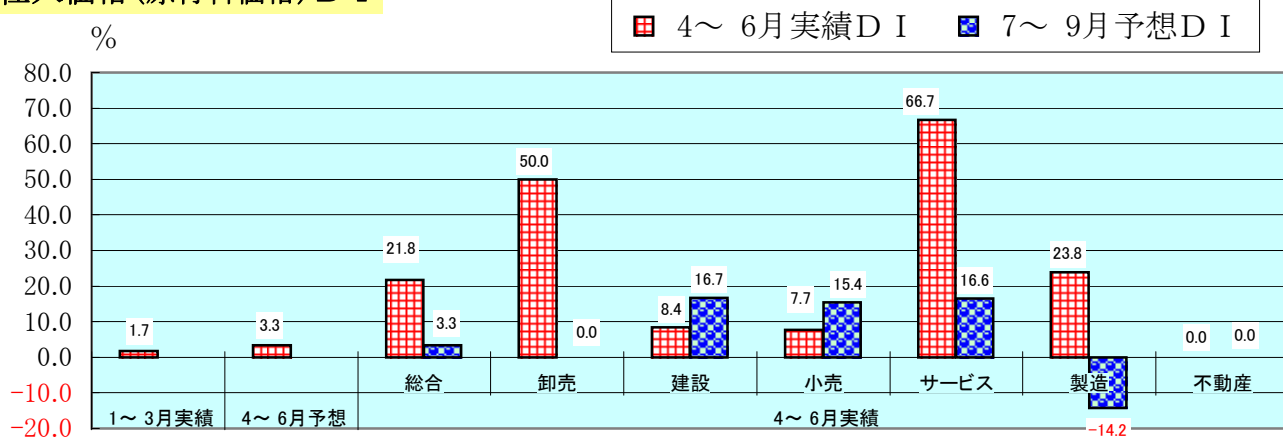
### (5) 仕入価格（原材料価格）の動き

仕入価格	上昇	やや上昇	変わらず	やや下降	下降	4～6月実績D I	7～9月予想D I
1～3月実績						1.7	
4～6月予想						3.3	
4～6月実績 総合	1.7	31.7	55.0	8.3	3.3	21.8	3.3
卸売	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
建設	0.0	16.7	75.0	8.3	0.0	8.4	16.7
小売	0.0	30.8	46.2	15.4	7.7	7.7	15.4
サービス	16.7	50.0	33.3	0.0	0.0	66.7	16.6
製造	0.0	38.1	47.6	9.5	4.8	23.8	-14.2
不動産	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

仕入価格（原材料価格） 4月～6月実績



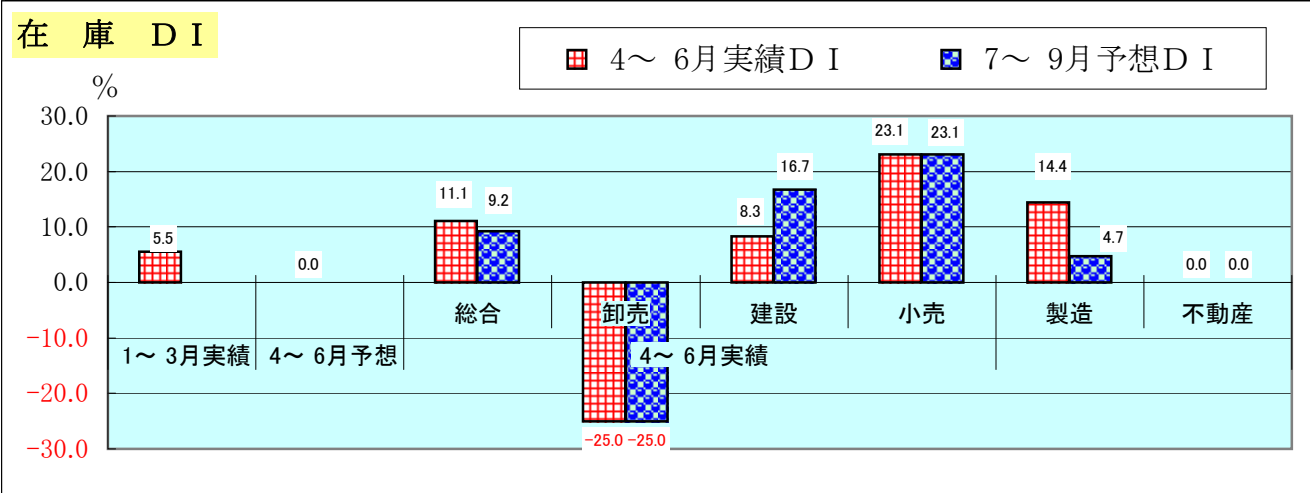
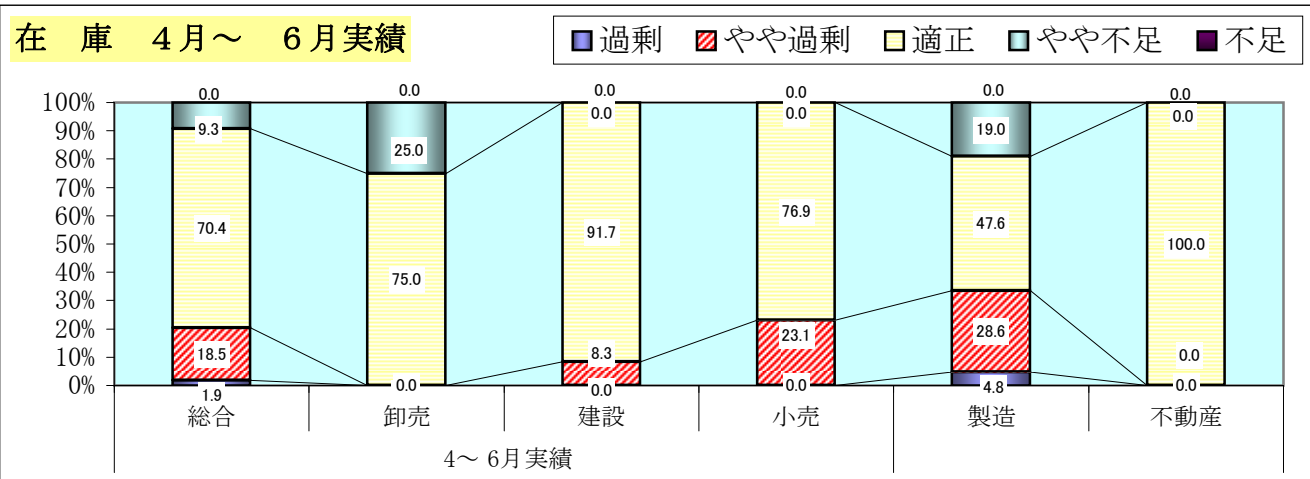
仕入価格（原材料価格）D I



- 前期に比べて仕入価格が「上昇」「やや上昇」と回答している企業が33.4%、「やや下降」「下降」と回答している企業が11.6%となり、今期実績D Iは21.8となりました。
- 今期実績は、前期実績D Iの1.7から20.1ポイント上昇し、前回調査における今期の予想D Iの3.3よりも18.5ポイント上昇を示しました。
- 業種別では不動産業を除き上昇傾向を示しました。
- 7～9月期の予想D Iは3.3で、4～6月期実績対比18.5ポイント下降を予想しています。

## (6) 在庫の動き

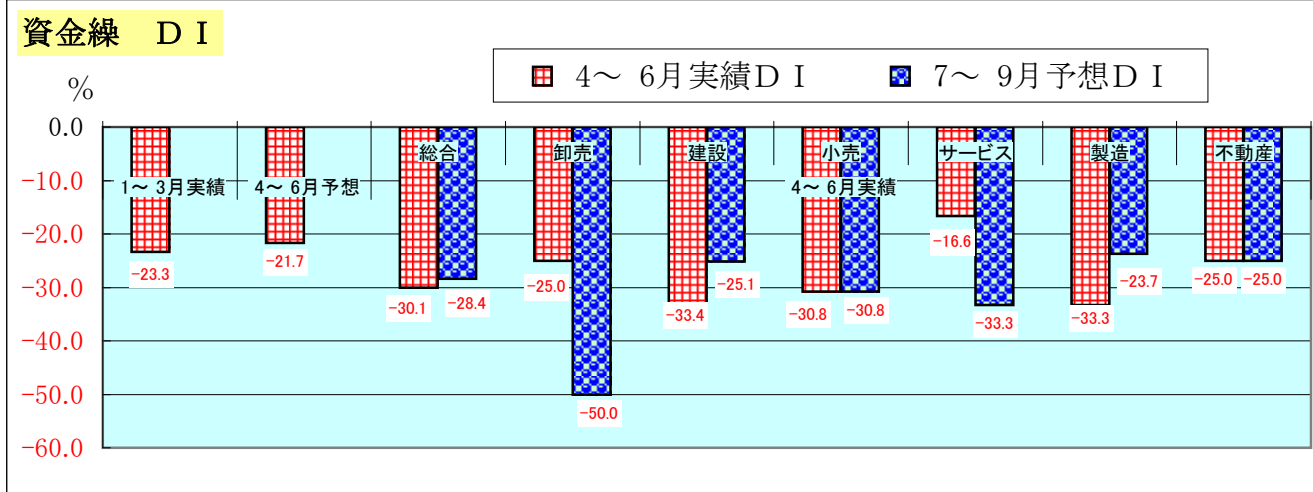
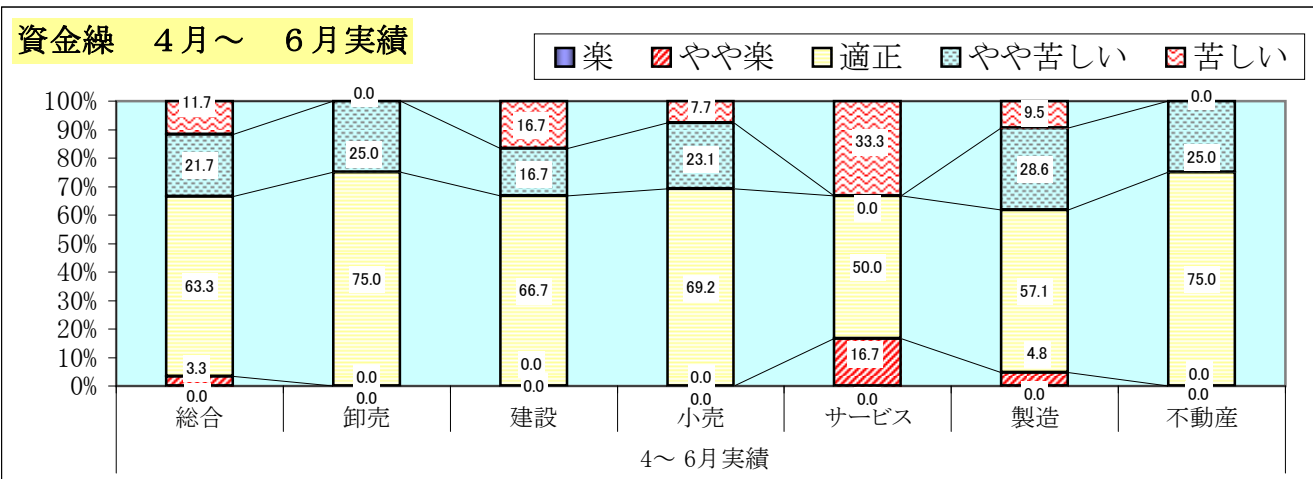
在庫	過剰	やや過剰	適正	やや不足	不足	4～6月実績D I	7～9月予想D I
1～3月実績						5.5	
4～6月予想						0.0	
4～6月実績 総合	1.9	18.5	70.4	9.3	0.0	11.1	9.2
卸売	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0	-25.0	-25.0
建設	0.0	8.3	91.7	0.0	0.0	8.3	16.7
小売	0.0	23.1	76.9	0.0	0.0	23.1	23.1
製造	4.8	28.6	47.6	19.0	0.0	14.4	4.7
不動産	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0



- 前期に比べて在庫（サービス業を除く）が「過剰」「やや過剰」と回答している企業が20.4%、「やや不足」「不足」と回答している企業が9.3%となり、今期D Iは11.1となりました。
- 今期実績は、前期実績D Iの5.5から5.6ポイント上昇し、前回における今期予想D Iの0.0に対しても11.1ポイント上昇を示しました。
- 業種別では、卸売業が不足傾向を示し、建設・製造・小売業は過剰傾向となっています。
- 7～9月期の予想D Iは9.2で、4～6月期実績対比1.9ポイントの下降を予想しています。

## (7) 資金繰りの動き

資金繰	楽	やや楽	適正	やや苦しい	苦しい	4～6月実績D I	7～9月予想D I
1～3月実績						-23.3	
4～6月予想						-21.7	
4～6月実績 総合	0.0	3.3	63.3	21.7	11.7	-30.1	-28.4
卸売	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0	-25.0	-50.0
建設	0.0	0.0	66.7	16.7	16.7	-33.4	-25.1
小売	0.0	0.0	69.2	23.1	7.7	-30.8	-30.8
サービス	0.0	16.7	50.0	0.0	33.3	-16.6	-33.3
製造	0.0	4.8	57.1	28.6	9.5	-33.3	-23.7
不動産	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0	-25.0	-25.0

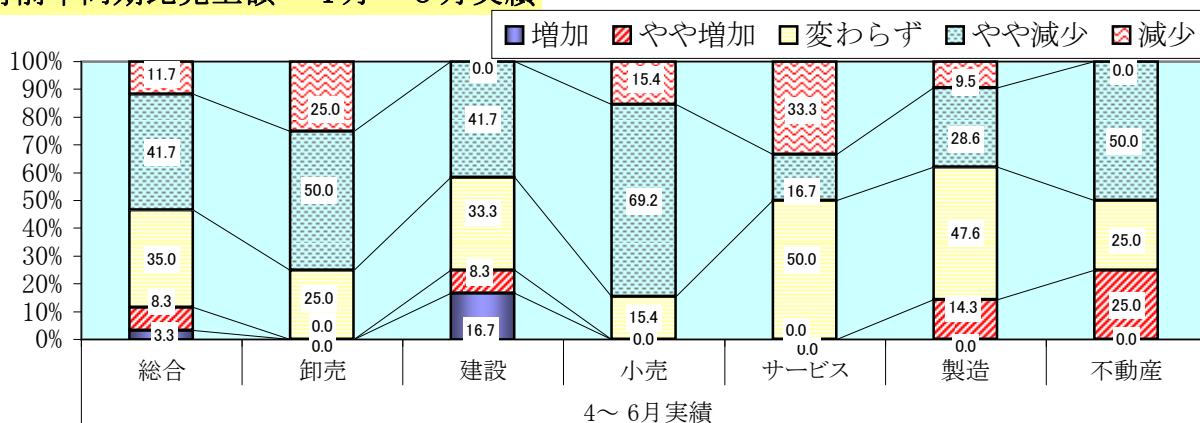


- 前期に比べて資金繰りが「楽」「やや楽」と回答している企業が3.3%、「やや苦しい」「苦しい」と回答している企業が33.4%となり、今期D Iは▲30.1となりました。
- 今期実績は、前期実績D I ▲23.3から6.8ポイント悪化を示し、前回調査における今期の予想D I ▲21.7に対しても8.4ポイント悪化を示しました。
- 業種別では、全ての業種で資金繰りは苦しい傾向にあります。
- 7～9月期の予想D Iは▲28.4で、4～6月期実績に比べ1.7ポイントの改善を予想しています。

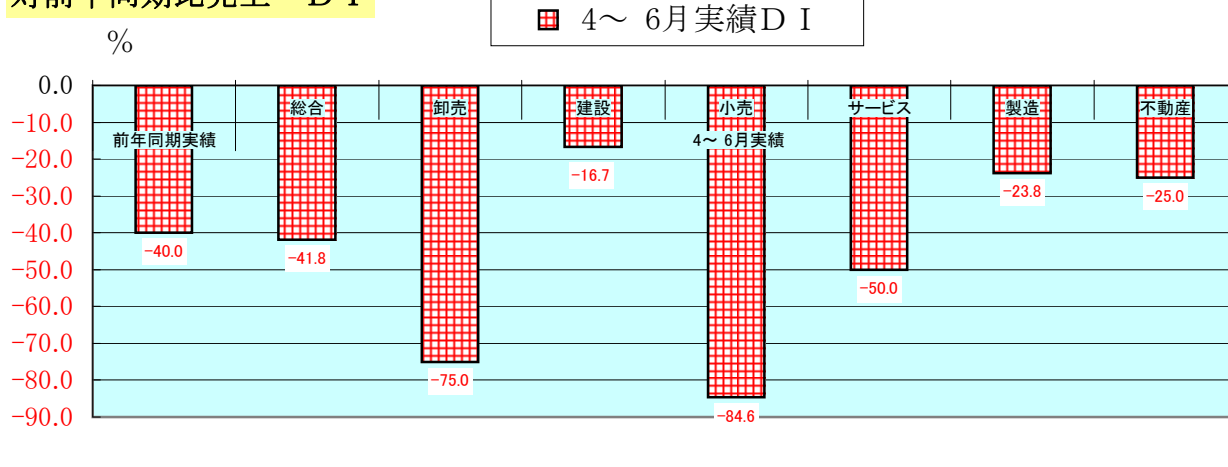
### 3. 対前年同期に比べた動き (1) 売上

対前年同期比売上	増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	4～6月実績D I
前年同期実績						-40.0
4～6月実績 総合	3.3	8.3	35.0	41.7	11.7	-41.8
卸売	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0	-75.0
建設	16.7	8.3	33.3	41.7	0.0	-16.7
小売	0.0	0.0	15.4	69.2	15.4	-84.6
サービス	0.0	0.0	50.0	16.7	33.3	-50.0
製造	0.0	14.3	47.6	28.6	9.5	-23.8
不動産	0.0	25.0	25.0	50.0	0.0	-25.0

対前年同期比売上額 4月～6月実績



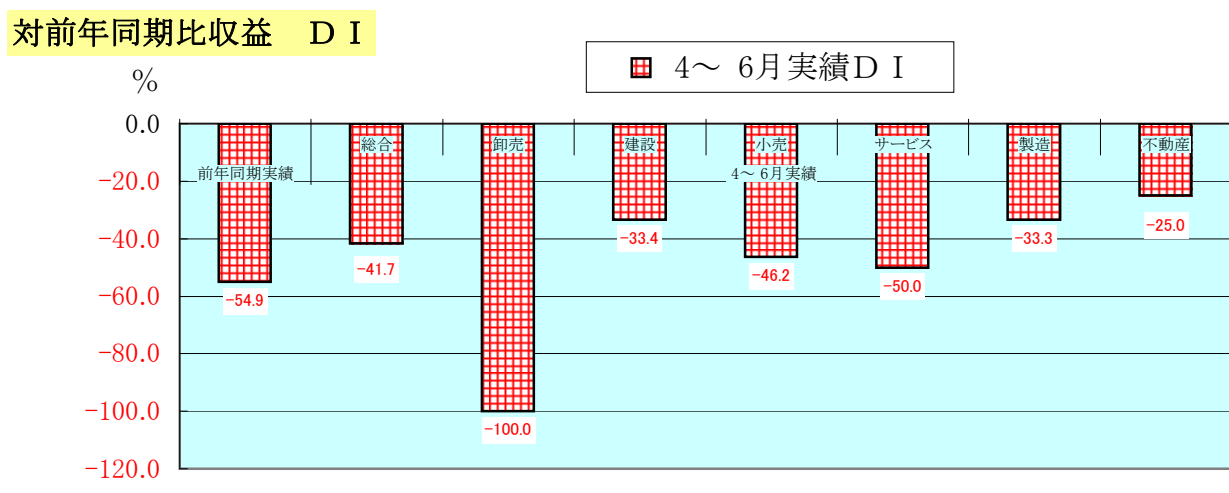
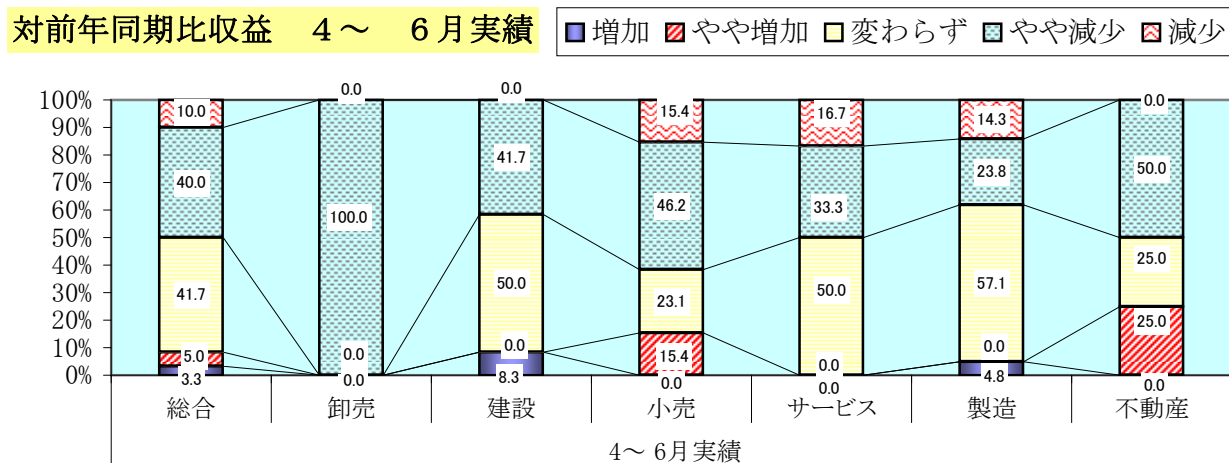
対前年同期比売上 D I



- 前年同期に比べた売上実績については、「増加」「やや増加」と回答している企業が11.6%、「やや減少」「減少」と回答している企業が53.4%となり、今期D Iは▲41.8となりました。
- 今期実績は前年同期実績D I ▲40.0に対し1.8ポイントの下降を示しました。
- 業種別では、全ての業種で減少傾向が窺われます。

## (2) 収益

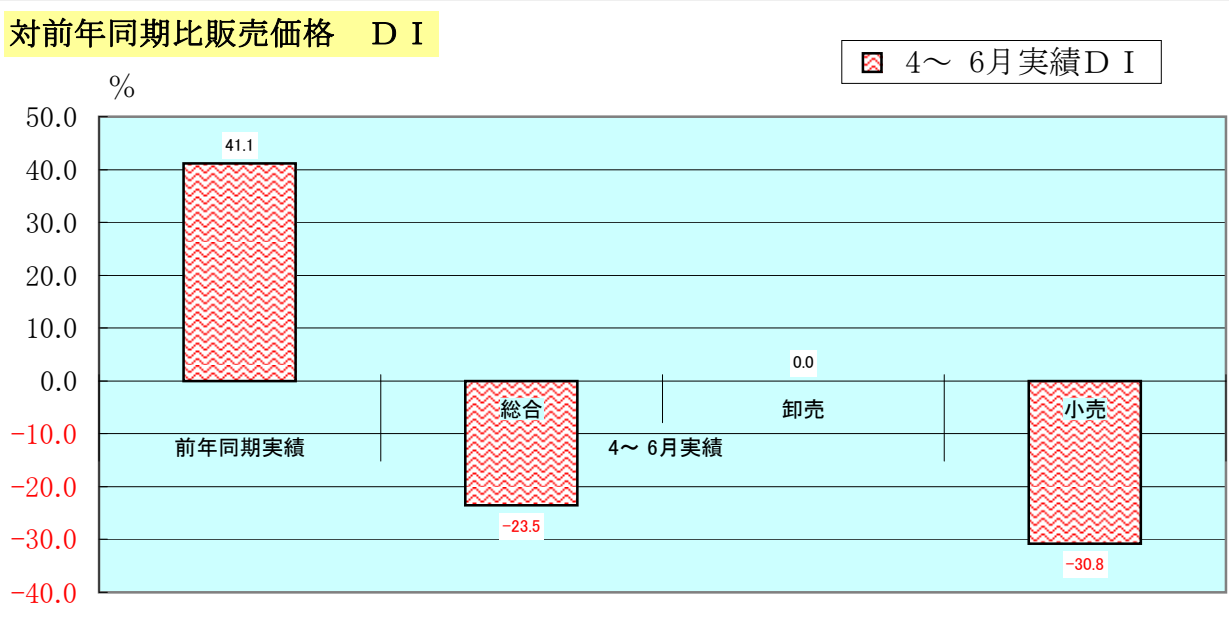
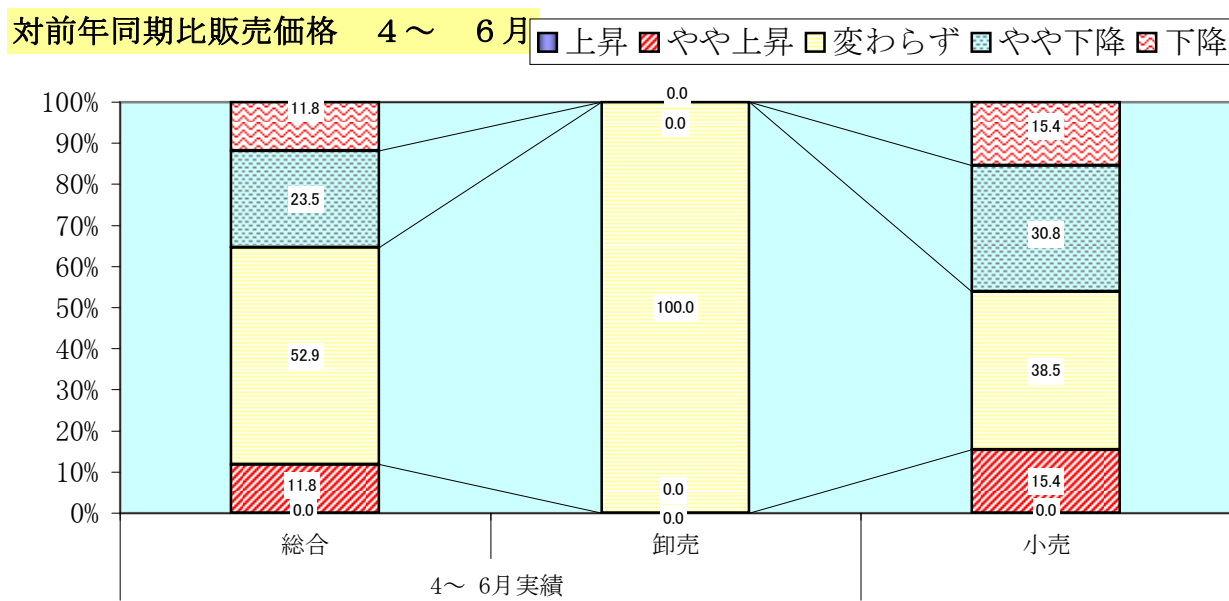
対前年同期比収益	増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	4～6月実績D I
前年同期実績						-54.9
4～6月実績 総合	3.3	5.0	41.7	40.0	10.0	-41.7
卸売	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	-100.0
建設	8.3	0.0	50.0	41.7	0.0	-33.4
小売	0.0	15.4	23.1	46.2	15.4	-46.2
サービス	0.0	0.0	50.0	33.3	16.7	-50.0
製造	4.8	0.0	57.1	23.8	14.3	-33.3
不動産	0.0	25.0	25.0	50.0	0.0	-25.0



- 収益については、「増加」「やや増加」と回答している企業が8.3%、「やや減少」「減少」と回答している企業が50.0%となり、今期D Iは▲41.7となりました。
- 今期実績は前年同期実績D I ▲54.9に対し、13.2ポイント良化しました。
- 業種別では、全ての業種で減少傾向となっています。

### (3) 販売価格

対前年同期比販売価格	上昇	やや上昇	変わらず	やや下降	下降	4～6月実績D I
前年同期実績						41.1
4～6月実績 総合	0.0	11.8	52.9	23.5	11.8	-23.5
卸売	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
小売	0.0	15.4	38.5	30.8	15.4	-30.8



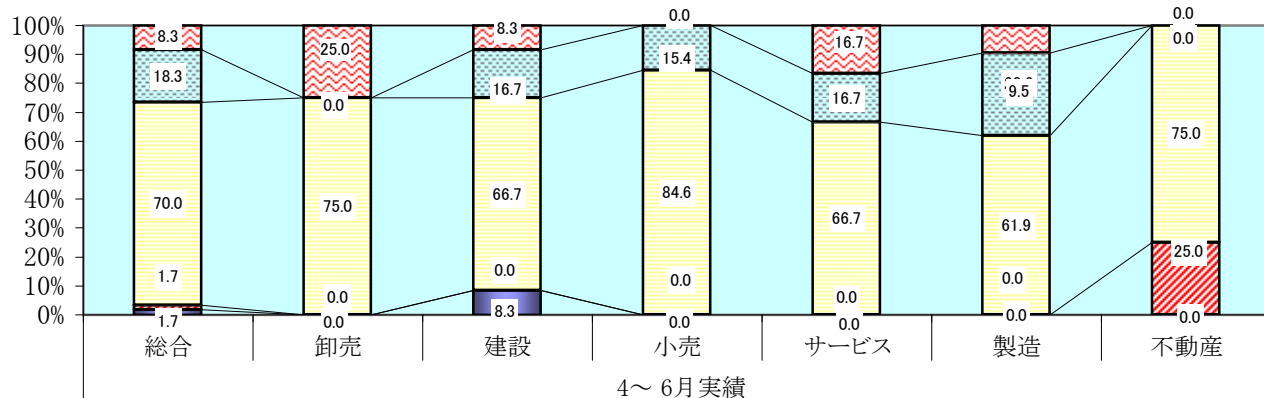
- 販売価格（卸売・小売のみ）については「上昇」「やや上昇」と回答している企業が11.8%、「やや下降」「下降」と回答している企業が35.3%となり、D Iは▲23.5となりました。
- 今期実績は前年同期実績D Iの41.1に対し64.6ポイント下降を示しました。
- 業種別では、小売業のみ下降しております。

## 4. 雇用面の動き

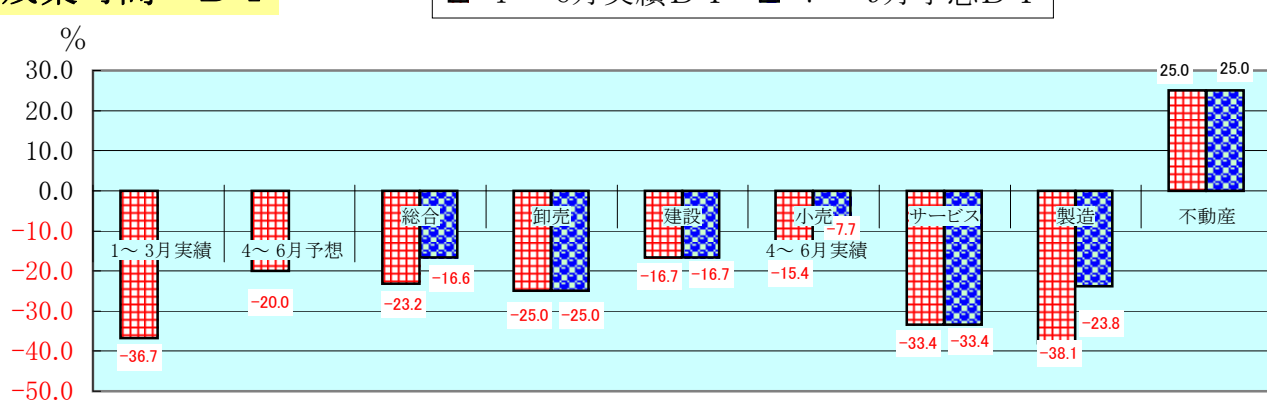
### (1) 残業時間

残業時間	増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	4～6月実績D I	7～9月予想D I
1～3月実績						-36.7	
4～6月予想						-20.0	
4～6月実績 総合	1.7	1.7	70.0	18.3	8.3	-23.2	-16.6
卸売	0.0	0.0	75.0	0.0	25.0	-25.0	-25.0
建設	8.3	0.0	66.7	16.7	8.3	-16.7	-16.7
小売	0.0	0.0	84.6	15.4	0.0	-15.4	-7.7
サービス	0.0	0.0	66.7	16.7	16.7	-33.4	-33.4
製造	0.0	0.0	61.9	28.6	9.5	-38.1	-23.8
不動産	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0	25.0	25.0

### 残業時間 4月～6月実績



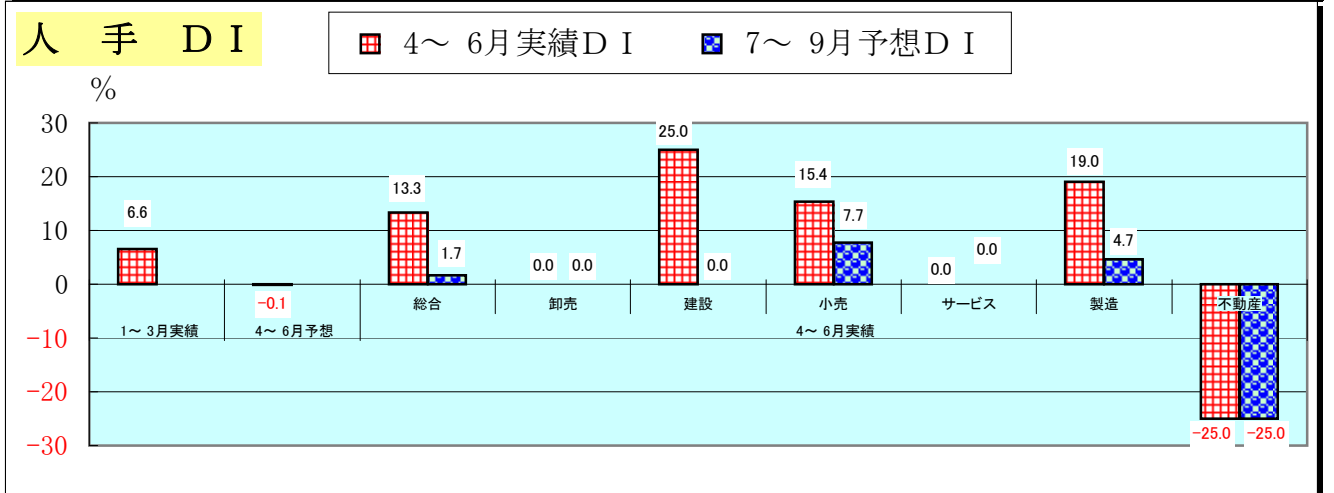
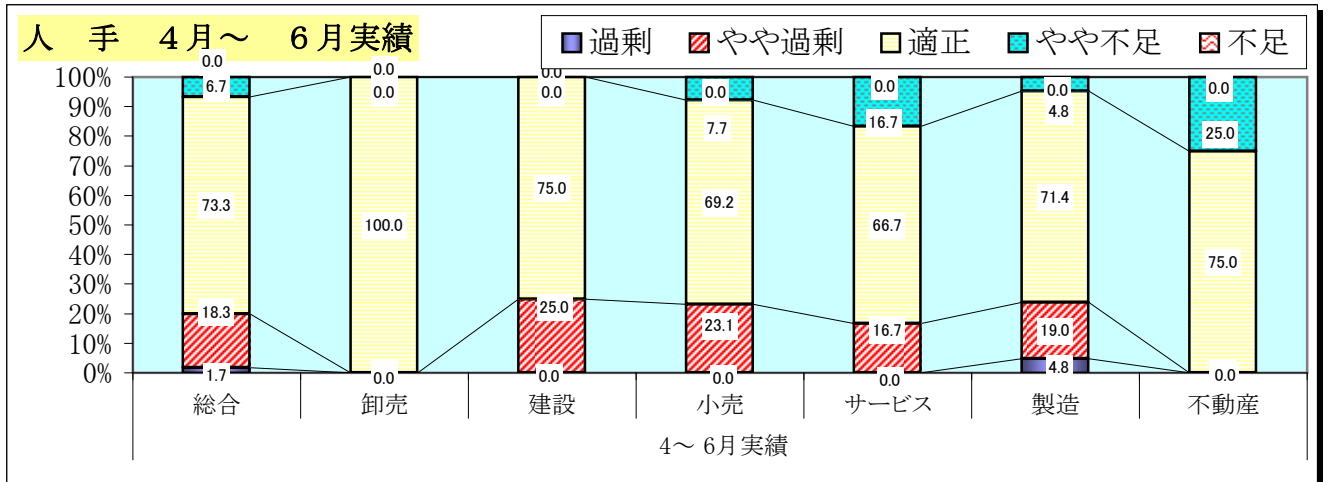
### 残業時間 D I



- 残業時間については、「増加」「やや増加」と回答している企業が3.4%、「やや減少」「減少」と回答している企業が26.6%となりD Iは▲23.2となりました。
- 今期実績は前期実績D I ▲36.7から13.5ポイント上昇し、前回調査における今期の予想D I ▲20.0よりは3.2ポイント下降しました。
- 業種別では、不動産業を除き減少傾向を示しました。
- 7～9月期の予想D Iは▲16.6で、4～6月期実績より6.6ポイント上昇を予想しています。

## (2) 人手

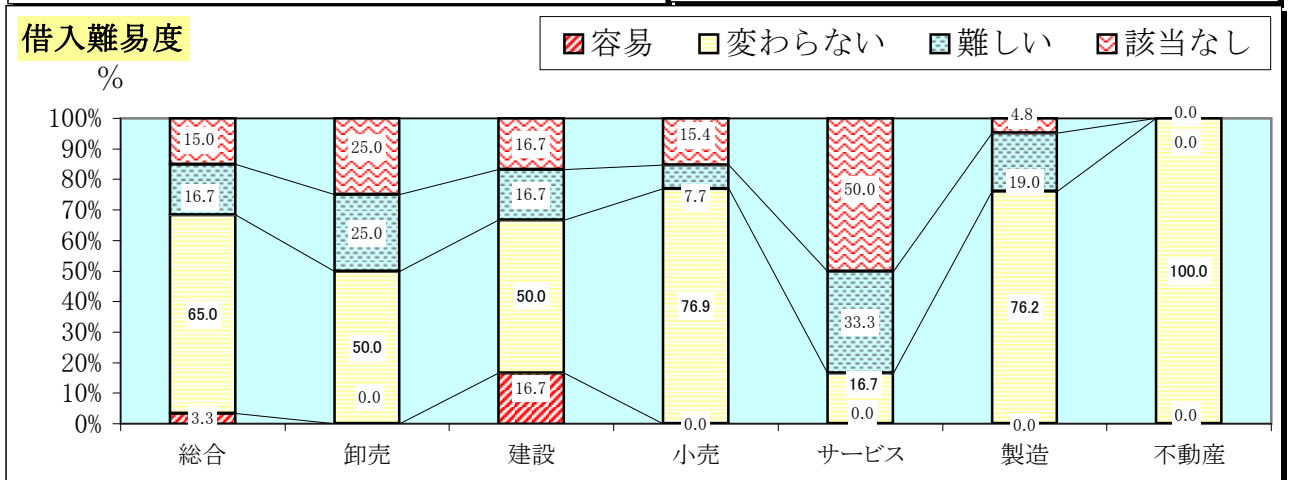
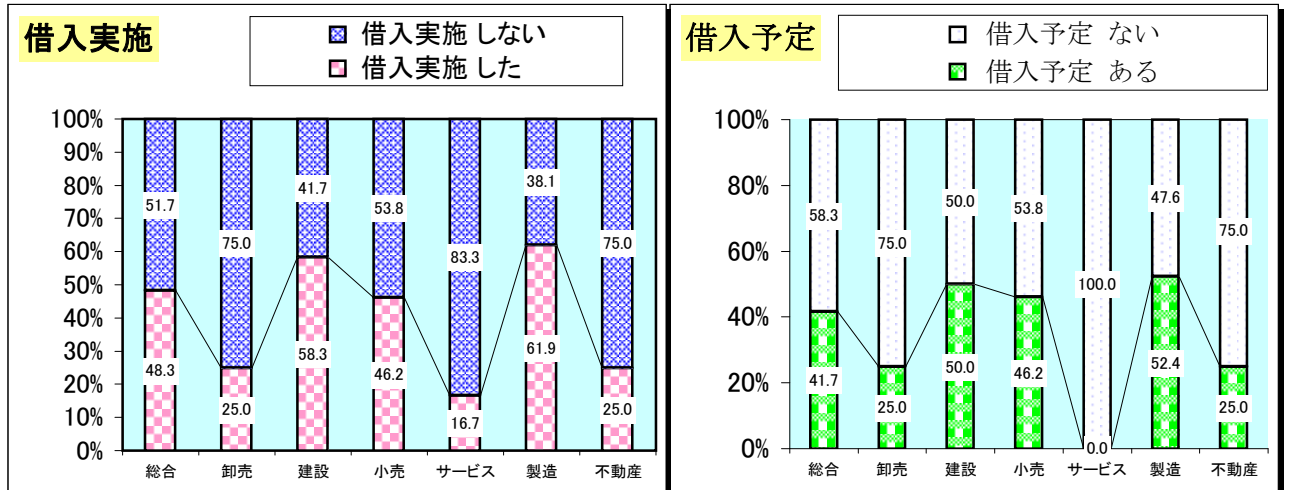
人手	過剰	やや過剰	適正	やや不足	不足	4～6月実績D I	7～9月予想D I
1～3月実績						6.6	
4～6月予想						-0.1	
4～6月実績 総合	1.7	18.3	73.3	6.7	0.0	13.3	1.7
卸売	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
建設	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0	25.0	0.0
小売	0.0	23.1	69.2	7.7	0.0	15.4	7.7
サービス	0.0	16.7	66.7	16.7	0.0	0.0	0.0
製造	4.8	19.0	71.4	4.8	0.0	19.0	4.7
不動産	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0	-25.0	-25.0



- 人手の過不足については、「過剰」「やや過剰」と回答している企業が20.0%、「やや不足」「不足」と回答している企業が6.7%となり、D Iは13.3となりました。
- 今期実績は前期実績D Iの6.6から6.7ポイント上昇し、前回調査における今期の予想D I ▲0.1よりも13.4ポイント上昇を示しました。
- 業種別では、建設・小売・製造業で過剰傾向となっています。
- 7～9月期予想D Iは1.7で、4～6月期の実績D Iより11.6ポイント下降を予想しています。

## 5. 借入金の動き

借入の実施	借入実施		借入予定		借入難易度			
	した	しない	ある	ない	容易	変わらない	難しい	該当なし
総合	48.3	51.7	41.7	58.3	3.3	65.0	16.7	15.0
卸売	25.0	75.0	25.0	75.0	0.0	50.0	25.0	25.0
建設	58.3	41.7	50.0	50.0	16.7	50.0	16.7	16.7
小売	46.2	53.8	46.2	53.8	0.0	76.9	7.7	15.4
サービス	16.7	83.3	0.0	100.0	0.0	16.7	33.3	50.0
製造	61.9	38.1	52.4	47.6	0.0	76.2	19.0	4.8
不動産	25.0	75.0	25.0	75.0	0.0	100.0	0.0	0.0

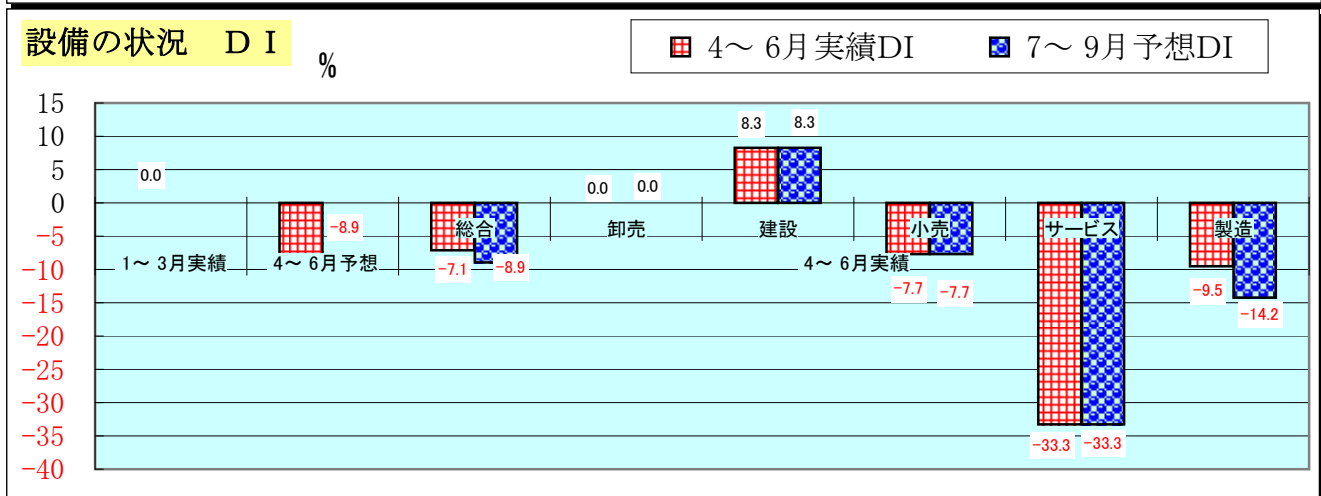
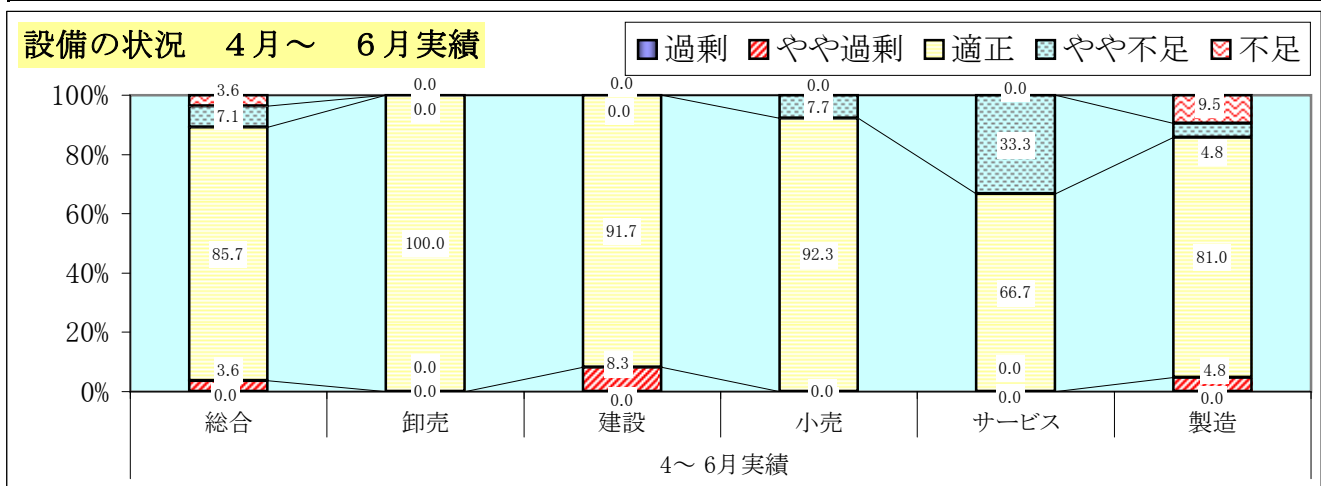


- 今期中に借入を「実施した」企業は全体の48.3%であり、その内、建設・製造・小売業は40%以上で借入を実施しています。  
前期の調査での借入実施率41.7%に対して、今期の借入実施企業の割合はこれより6.6ポイント上昇しています。
- 今後の借入予定では、41.7%の企業が「予定あり」と回答しています。  
業種別では、製造業が52.4%、建設業50.0%、小売業が46.2%と高率となっています。
- 民間金融機関からの借入難易度について見ると、「変わらない」と回答した企業が65.0% (前回65.0%)、以下「難しい」は16.7% (前回15.7%)、「容易」は3.3% (前回10.0%) となっております。

## 6. 設備投資の動き

### (1) 設備状況

設備の動き	過剰	やや過剰	適正	やや不足	不足	4～6月実績D I	7～9月予想D I
1～3月実績						0.0	
4～6月予想						-8.9	
4～6月実績総合	0.0	3.6	85.7	7.1	3.6	-7.1	-8.9
卸売	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
建設	0.0	8.3	91.7	0.0	0.0	8.3	8.3
小売	0.0	0.0	92.3	7.7	0.0	-7.7	-7.7
サービス	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	-33.3	-33.3
製造	0.0	4.8	81.0	4.8	9.5	-9.5	-14.2



- 設備の状況(不動産業を除く)について、「不足」「やや不足」と回答している企業が10.7%、「過剰」「やや過剰」と回答している企業が3.6%となり、今期D Iは▲7.1となりました。
- 今期実績は、前期実績D Iの0.0に対し7.1ポイント下降し、前回調査における今期の予想D Iの▲8.9よりは1.8ポイント上回りました。
- 業種別では、建設業のみ過剰傾向を示しました。
- 7～9月期予想D Iは▲8.9で、1.8ポイントの下降を予想しています。

## (2) 設備投資の実施と予定状況

(複数回答)

設備投資の実施内容	土地建物	機械新增設	機械更改	事務機器	車両	その他	実施しない
4月～6月 (件数) 総合	2	2	1	2	2	0	51
卸売	0	0	0	0	0	0	4
建設	0	2	1	1	1	0	9
小売	0	0	0	0	0	0	13
サービス	2	0	0	1	0	0	4
製造	0	0	0	0	1	0	21

設備投資の予定内容	土地建物	機械新增設	機械更改	事務機器	車両	その他	実施しない
7月～9月 (件数) 総合	3	2	5	0	4	0	48
卸売	0	0	0	0	0	0	4
建設	0	1	1	0	1	0	11
小売	0	0	2	0	2	0	11
サービス	2	0	0	0	0	0	5
製造	1	1	2	0	1	0	17

- 設備投資(不動産除く)の実施状況は、「実施した」企業が延べ9件(全体の15%)で前期の8件を1件上回りました。

業種別内訳では建設業で5件、サービス業で3件、製造業で1件が実施しました。

実施した設備内容は「土地建物」、「機械新增設」、「車両」、「事務機器」が各2件、「機械更改」1件となっています。

- 来期の設備投資の予定を見ると、「予定あり」と回答した企業は14件(全体の22%)で、今期の9件を5件上回ります。

業種別内訳では製造業が5件、小売業が4件、建設業3件、サービス業2件が予定されています。

設備投資計画の内容を見ると、「機械更改」5件、「車両」4件、「土地・建物」3件、「機械新增設」2件を予定しています。

経営上の問題点（項目別構成比「集計」）  
（業種別度数）

（複数回答）

集計項目	卸売		建設		小売		サービス		製造		不動産		度数合計		構成比	
	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期
売上の停滞・減少	4	4	11	11	7	9	5	3	11	14	2	1	40	42	27.4	27.1
同業者間の競争激化	0	0	9	9	1	3	2	1	9	9	2	3	23	25	15.8	16.1
利幅の縮小	1	2	6	9	3	4	2	2	4	8	3	3	19	28	13.0	18.1
人件費の増加	0	0	0	0	1	0	1	0	1	2	0	1	3	3	2.1	1.9
工場・機械（店舗設備）の狭小・老朽化	0	0	0	0	1	0	2	2	0	2	0	0	3	4	2.1	2.6
人件費以外の経費の増加	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0	1.4	0.0
大手企業（大型店）との競争激化	1	1	0	1	3	0	1	1	1	1	0	1	6	5	4.1	3.2
合理化の不足	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	1	0	4	2	2.7	1.3
天候の不順	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2	0	0	2	2	1.4	1.3
代金回収の悪化	0	0	0	0	3	1	0	1	0	0	0	0	3	2	2.1	1.3
原材料高・材料価格の上昇	0	0	1	1	0	0	2	2	3	4	0	0	6	7	4.1	4.5
地場産業の衰退	0	0	4	2	1	2	2	1	2	3	0	0	9	8	6.2	5.2
集客力の低下	0	0	0	0	4	3	0	0	0	0	0	0	4	3	2.7	1.9
駐車場・資材確保難	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
為替レートの変動	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0.7	0.0
販売商品の不足・商品物件の不足	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1.4	0.6
販売納入先からの値下げ要請	0	0	0	0	1	1	0	0	3	2	0	0	4	3	2.7	1.9
人手不足	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0.7	0.6
商圏人口の減少	0	0	0	0	2	5	0	0	0	0	0	0	2	5	1.4	3.2
取引先の減少	0	1	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	1	3	0.7	1.9
生産能力の不足・技術力の不足	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.0	0.6
輸入製品（商品）との競争激化	2	1	0	0	0	0	0	0	6	2	0	0	8	3	5.5	1.9
問題なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3	0.0	1.9
地価の高騰	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
流通経路競争の激化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
大手企業・工場の縮小・撤退	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
親企業による選別の強化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
小口注文・多頻度配送の激化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
商品物件の高騰	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
取扱商品（業務）の陳腐化	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0.0	0.6
仕入先からの値上り要請	1	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	2	3	1.4	1.9
下請けの確保難	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0.7	0.0
合計	11	10	31	34	31	33	19	15	46	54	8	9	146	155	100.0	100.0

○ 各企業が経営上の問題点として挙げている項目を見ていくと

第1位～「売上の停滞・減少」 42件  
 第2位～「利幅の縮小」 28件  
 第3位～「同業者間の競争激化」 25件

\*前期\*

第1位～「売上の停滞・減少」 40件  
 第2位～「同業者間の競争激化」 23件  
 第3位～「利幅の縮小」 19件

順番の変動はあるものの、上位3位の項目は前期と同様です。

○ 業種別の上位項目をみると下記の通りとなっています。

単位：件

	第1位	第2位	第3位
製造業	売上の停滞・減少 14	同業者間の競争激化 9	利幅の縮小 8
小売業	売上の停滞・減少 9	商圏人口の減少 5	利幅の縮小 4
建設業	売上の停滞・減少 11	同業者間の競争激化 他 9	
サービス業	売上の停滞・減少 3	利幅の縮小 他 2	

当面の重点経営施策（項目別構成比「集計」）

（複数回答）

（業種別度数）

集計項目	卸売		建設		小売		サービス		製造		不動産		度数合計		構成比	
	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期
経費を節減する	3	3	10	11	8	6	4	4	15	18	1	1	41	43	28.7	28.9
販路を広げる	2	2	10	7	0	0	2	1	19	19	2	2	35	31	24.5	20.8
情報力を強化する	3	3	7	5	0	0	0	0	10	8	2	2	22	18	15.4	12.1
人材を確保する	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	1	1	3	0.7	2.0
技術力を強化（高める）	0	0	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	2	5	1.4	3.4
流通経路の見直しをする	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5	0	0	5	5	3.5	3.4
機械化を推進する	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	1	2	3	1.4	2.0
パート化を図る	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	3	0	2.1	0.0
新商品・技術の開発・新しい工法の導入	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0.0	1.3
宣伝・広告を強化する	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	1	3	1	2.1	0.7
品揃えを充実（改善）する	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0.0	1.3
新しい事業を始める	0	0	0	0	5	6	4	3	0	0	1	1	10	10	7.0	6.7
仕入先を開拓・選別する	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	3	3	2.1	2.0
その他	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	0	0	1	3	0.7	2.0
売れ筋商品を取扱う	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	3	3	2.1	2.0
特になし	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0.7	0.7
店舗・設備を改装する	0	0	0	0	0	0	2	3	0	0	0	0	2	3	1.4	2.0
工場・機械を増設・移転する	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
不動産の有効活動を図る	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.7	0.7
輸入品の取扱を増やす	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
取引先を支援する	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.7	0.7
商店街事業を活性化させる	0	0	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0	1	4	0.7	2.7
営業時間を延長する	0	0	0	0	4	5	0	0	0	0	0	0	4	5	2.8	3.4
提携先を見つける	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	1	0	2	2	1.4	1.3
不採算部門を整理・縮小する	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
労働条件を改善する	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
教育訓練を強化する	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
合計	10	10	30	31	27	29	15	13	52	57	9	9	143	149	100.0	100.0

○ 経営上の問題克服のために、企業経営者が講じている重点経営施策としては

第1位～ 「経費を節減する」 43 件  
 第2位～ 「販路を広げる」 31 件  
 第3位～ 「情報力を強化する」 18 件

**\*前期\***

第1位～ 「経費を節減する」 41 件  
 第2位～ 「販路を広げる」 35 件  
 第3位～ 「情報力を強化する」 22 件

以下、上位 3位までが前期と同様となっています。

○ 業種別の上位項目をみると下記の通りとなっています。

単位：件

	第 1 位	第 2 位
製 造 業	販路を広げる 19	経費を節減する 18
建 設 業	経費を節減する 11	販路を広げる 7
小 売 業	経費を節減する 新しい事業を始める 6	営業時間を延長する 5
サービス業	経費を節減する 4	新しい事業を始める 店舗・設備を改装する 3

## 特別調査

### 「世界同時不況下における中小企業の雇用戦略」

問 1 貴社では、今後1，2年程度の正規社員・非正規社員の雇用について、どのように対応する方針ですか。正規社員については下記の1～3の中から、非正規社員については下記の4～7の中からそれぞれ1つ選んでお答えください。（「非正規社員」とはパート・アルバイト・派遣社員などです）

	①正規社員			②非正規社員						
	1. 増やす	2. 変えない	3. 減らす	4. 増やす	5. 変えない	6. 減らす	7. 従来からいない			
合計（構成比）	5%	77%	18%	7%	52%	10%	31%			
合計件数	3	46	11	4	31	6	19			
卸売	0	4	0	0	2	0	2			
建設	2	7	3	2	5	0	5			
小売	0	10	3	1	4	1	7			
サービス	0	5	1	0	4	1	1			
製造	1	16	4	1	14	3	3			
不動産	0	4	0	0	2	1	1			

上記正規社員の雇用については、「変えない」が77%と大半を占めており、非正規社員の雇用に対しても同様に「変えない」が52%と最も多く、雇用については消極的な傾向が窺われます。

問 2 今後1年程度の間、貴社での賃金改定の方角性についてお答えください。正規社員の賃金（賞与含む）については、下記の1～3から、非正規社員の賃金については下記の4～7の中から、それぞれ1つを選んでお答えください。

	①正規社員			②非正規社員						
	1. 引き上げ予定	2. 据え置き予定	3. 引き下げ予定	4. 引き上げ予定	5. 据え置き予定	6. 引き下げ予定	7. 非正規社員はいない予定			
合計（構成比）	3%	82%	15%	0%	55%	10%	35%			
総合	2	49	9	0	33	6	21			
卸売	0	4	0	0	2	0	2			
建設	0	9	3	0	5	1	6			
小売	0	11	2	0	5	1	7			
サービス	0	5	1	0	4	1	1			
製造	2	16	3	0	14	3	4			
不動産	0	4	0	0	3	0	1			

上記正規社員の賃金については、「据え置き予定」が82%と大半を占めており、非正規社員の賃金に対しても同様に、「据え置き予定」が55%と最も多く、賃金改定には厳しさが窺われます。

問 3 貴社では、どのような能力や特性のある人材を必要としていますか。下記の中から3つ以内で選んでお答えください。

	1. 経営・管理能力がある	2. 営業力がある	3. 事務能力がある	4. パソコンを使いこなせる	5. 業界独自の資格保有者	6. 低賃金で雇える	7. 年齢が若い	8. 同業他社での職務経験あり	9. コミュニケーション能力がある	10. 能力・特性は問わない
合計（構成比）	12%	24%	4%	4%	12%	10%	10%	12%	6%	6%
総合	18	34	6	6	17	14	15	17	8	8
卸売	0	4	1	1	0	0	0	1	1	1
建設	5	5	1	0	7	3	5	3	2	2
小売	4	10	1	1	3	1	3	3	4	4
サービス	2	5	1	1	1	1	0	4	0	0
製造	6	8	1	3	4	9	7	4	0	0
不動産	1	2	1	0	2	0	0	2	1	1

上記の質問に対しては、「営業力がある」が24%で最も多く、実践能力を重視する傾向が窺われます。以下「経営・管理能力がある」、「業界独自の資格保有者」、「同業他社での職務経験あり」が12%で続いています。

## 特別調査

### 「世界同時不況下における中小企業の雇用戦略」

問 4 貴社がワークシェアリング（1人当たり労働時間を減らすことで、雇用を維持すること）を導入済みか導入予定ならば、その理由を下記の1～5の中から、導入予定がない場合は、その理由を下記の6～9の中から、1つ選んでお答えください。

	①導入済み・予定あり					②導入予定なし				
	1.雇用が維持できる	2.士気や生産性が高まる	3.人件費が低下する	4.他の施策より導入しやすい	5.その他	6.業務繁忙のため不要・不可能	7.士気や生産性が低下する	8.人件費が（あまり）低下しない	9.業務の性質上導入しにくい	10.その他
合計（構成比）	25%	25%	50%	0%	0%	6%	27%	15%	50%	2%
総合	2	2	4	0	0	3	14	8	26	1
卸売	1	0	0	0	0	0	1	0	2	0
建設	1	1	1	0	0	0	3	1	5	0
小売	0	1	1	0	0	1	4	2	4	0
サービス	0	0	1	0	0	0	0	2	3	0
製造	0	0	1	0	0	2	4	2	11	1
不動産	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0

上記質問に対しては、①「導入済み・予定あり」が8件で、②「導入予定なし」が52件となっている。①の理由としては、「人件費が低下する」が半数を占め経費削減を要因に挙げた。また、②の理由としては「業務の性質上導入しにくい」が51%と業種柄事情が半数を占めた。

問 5 企業の社会的責任として、雇用の安定や創出が求められています。今後、中小企業が雇用を維持・拡大していくためには、行政面でどのような取組やサポートが求められると思われますか。下記のなかから3つ以内で選んでお答えください。

	1.雇用助成金制度の充実	2.各種税制の優遇	3.社会保険料負担の軽減	4.人材能力開発への補助	5.公共事業の拡大	6.雇用にかんする規制の緩和	7.緊急融資等資金繰りの支援	8.新分野参入への障壁の撤廃	9.行政には期待していない	10.その他
合計（構成比）	23%	14%	20%	1%	14%	10%	9%	2%	6%	1%
総合	30	19	27	1	19	13	12	2	8	1
卸売	3	3	3	0	0	1	1	0	0	0
建設	7	3	2	1	11	1	1	2	0	0
小売	4	4	11	0	1	1	2	0	2	0
サービス	1	2	2	0	0	1	3	0	1	0
製造	13	6	9	0	5	9	4	0	5	0
不動産	2	1	0	0	2	0	1	0	0	1

上記の質問に対しては、「雇用助成金制度の充実」が23%、次いで「社会保険料負担の軽減」20%、「各種税制の優遇」、「公共事業の拡大」が14%と続いている。